

対話的な学びにつなげるための共有化のポイント

対話の目的や方法の工夫



○ペア学習やグループ学習の目的を明確にする。

ペア学習 ……自分の考えを書く前の手掛かりとなるヒントを得たり、話し合いによる確認をしたりする。

グループ学習

【低学年】

- ・考えを伝え合い、友だちの考えを知ることができるようにする。
- ・話し合いの手順や約束の確認をする。

【中・高学年】

- ・主発問等に対する考えをまとめる際に行い、多様な意見を引き出したり、違う視点から意見を聞いたりすることで、考えを広げたり深めたりさせる。

○活動前に必ず対話のゴールを示し、見通しを持たせる。

○話し合いの課題、時間、まとめの方法（1つにまとめるか、多様な意見を挙げるかなど）を具体的に示す。

○話し合いをスムーズに進められるように、ホワイトボード（WB）を活用する。

◎個人での活用

- ①自分の考えをキーワードでWBに書く。
- ↓
- ②WBを黒板に貼る。
- ↓
- ③共通点や相違点を話し合う。
- ↓
- ④目的に合わせて全体でまとめる。

◎グループでの活用

- ①自分の考えをノートなどに書く。
- ↓
- ②グループで考えを伝え合う。
- ↓
- ③目的に合わせてWBにまとめる。
- ↓
- ④全体で共有する。

教師のかかわり方の工夫

○考える視点を与えたり、児童の考えをつなげたりして、対話を活性化させる指名や投げかけを行う。

◎指名や投げかけの例

- ・共通点や相違点を考えさせる。
- ・自分の経験を想起させる。
- ・他者の意見に対する自分の考えを述べさせる。
- ・友達の良い考えを見付けさせる。 など



○学習のまとめは、児童に自分の言葉でまとめさせたり、教師が児童の考えや言葉を生かしてまとめたりする。